

## バイオトイレ【えこども】（活動視察）

まちづくり活動団体の活動視察に行ってきましたので、その様子を掲載します。

日 時：平成 25 年 10 月 6 日（日）

見学時間：9：30～11：30

場 所：東谷山山頂尾張戸神社（守山区上志段味東谷）

交 通：地下鉄「大曽根駅」⇄ゆとりーとライン「東谷橋⇄徒歩 25 分」

### （えこどもの活動）

子どもが行きたくなるようなエコなトイレ（バイオトイレ）を東谷山山頂に設置します。

建屋の建設に住民・親子・一般が参画して組み立てるワークショップ形式で実施します。内容は、材料加工、ホゾ穴作り、組み立て、上棟、柿渋塗布、荒壁土ねり、塗り、漆喰塗り等を行います。

### （活 動 の 様 子）

バイオトイレ建屋の建設を「なごや環境大学共育講座」の一環として取り入れ、ワークショップ形式で参加者に体験してもらいながら進められていました。

これまでに、基礎工事から上棟、屋根の梁もあり、また、木舞という壁の内部補強材を組み立て、荒壁塗りまで済んでいました。

今回は、壁の柱周りをきれいにして、一度に塗り上げるのではなく、下塗りをして中塗りをする作業を行いました。



バイオトイレの建物



大人の参加者の他に5組ほどの親子が参加していました。  
作業の前に団体メンバーから説明がありました。



壁塗りの土と水をミキサーで混ぜ合わせたものを、コテで壁に塗ります。



始めに、プロの左官職人さんが、お手本を示しました。塗り方は左上から先に  
周辺を塗って中面を塗り、下へと順番にいくそうです。



いざ、壁塗りの作業を始めると、お手本を示してくれた左官職人さんのようにはうまく塗れず、塗り土が下にぼとぼと落ちてしまい、悪戦苦闘の様子でした。根気よく丁寧に繰り返しながら、時々職人さんにアドバイスをしてもらい、作業をしているうちにコツをつかんできたようでした。



壁を塗り終えた後は、周辺の柱についた土をきれいに拭き取ります。こうしないと、柱が黒ずんでしまうそうです。

参加者は作業体験をしながら、日本古来からの壁の構造や建物の工法の効果などを学んでいきます。

この壁塗りの作業を終えると、次回は、漆喰塗り作業を行い、仕上げに東谷山に落ちているリスのクルミの食痕や松ぼっくりの食痕を壁に埋め込むそうです。

建設の工程は今のところ順調にきているそうなので、予定通り進めば、12月半ばには完成するそうです。



#### みるくの感想

台風の影響を心配しつつ東谷山の山頂へ。雨はなく、時折差す日差しで、10月にしては暑さを感じる1日でした。

左官屋さん、大工さんの指導を受けながら、参加者の皆さんたちの手で少しずつバイオトイレができてくる姿はとても嬉しいものです。

左官さんが簡単そうに見せてくれた壁塗りは、体験してみるとそれはそれは難しく土は落ち、壁は凸凹に……。一方で、黙々と塗っている子供たち、おとうさん、おかあさんは、どんどんうまくなっていき、出来上がりが楽しみです。

慌ただしい現代社会を一時離れ、東谷山の山頂で自然を感じ、土に触れつつ日本建築を感じ、本当に楽しく有意義な時間を共有できるワークショップでした。



#### おむすびの感想

建物を建設するのはプロだけに任せるのではなく、その過程に市民の方々が参加することで、日本古来の建築を知り、環境に配慮したトイレ建設に関わることで、より地域への愛着が持たれるように感じました。

建設に至る過程でも地域の方々と交えての様々な取り組みを行ってきており、トイレ建設の過程そのものが、自分たちで行動を起こすまちづくり活動へと繋がっていけるよう、団体の方も意識した活動であることが伝わってきました。今後も活動そのものを広くアピールすることの必要性を感じました。

完成後も多くの市民に愛され、利用されていくことを期待します。